

令和元年度地域包括支援センター課題対応取組み報告書

名称	此花区南西部地域包括支援センター
----	------------------

活動テーマ	専門相談機関相談員勉強会の強化・深化 ～専門相談機関相談員連絡会（仮）の設立に向けて～
地域ケア会議から 見えてきた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・此花区として社会資源は少ないものの、その中で既存の社会資源の有効活用が出来ていない。 ・地域や関係機関との連携を図れてきているものの上手く機能していない部分がある。
対象	認知症初期集中支援チーム、在宅医療・介護連携相談支援室、生活支援コーディネーター障がい者基幹相談支援センター、見守り相談室、自立相談支援窓口、あんしんさぽーと相談員、総合相談窓口（ブランチ）、地域包括支援センター
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域面積が此花区の約4分の3。 ・7つの連合振興町会が圏域内にある。高齢化率は西九条36.4%、四貫島31.1%、梅香28.5%、恩貴島33.0%、春日出22.4%、島屋15.7%、桜島42.7%と格差がある。 ・此花区内介護保険サービス事業所が圏域内に80%（110カ所中88カ所）設置されている。 ・総合病院（救急病院）といえる医療機関は1病院で、精神科クリニックも1病院と隣接区の医療機関に通院している高齢者も少なくない。 ・社会資源がフォーマル・インフォーマル問わず此花区全体的に不足している。
活動目標	各専門相談機関の機能強化、そのための効果的な情報共有・役割分担及び各相談員のスキルアップ
活動内容 (具体的取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談機関相談員勉強会の継続実施 ⇒平成30年度：2回開催（延23名・講師1名×1回） 平成31年度（令和元年度）：4回開催（延47名・講師1名×2回） ・専門相談機関相談窓口一覧表の作成 ⇒専門職向け：原案作成（今後区役所と相談し、区役所内各相談窓口の記載について検討予定） 地域住民向け：検討中（令和2年度中の完成を目指す）
成果 (根拠となる資料等が あれば添付すること)	認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業等新たに各種事業が実施されたことに伴い、専門相談機関が多岐にわたり増えたことで、各専門相談機関の相談員がお互いにそれぞれの役割や専門性についての十分な理解が不足しており、支援を展開する過程において密な連携を図る事が難しく効率的な対応が不十分という結果を招いていた。一昨年度は2回勉強会を実施し、1回目は各専門相談機関の相談員が集まり、各々の役割や専門性についての学びや今後連携を図っていく上で必ず必要となる顔の見える関係づくりのための場を持ち、2回目は講師による地域福祉に関する講義を聴くと同時にディスカッションを行った。昨年度は4回開催、うち2回は講師を招いての意見交換を行い、多少のメンバーの入れ替わりはあったもののほぼ固定化し、対象の専門相談機関相談員同士が顔の見える関係性を構築することが出来、意見交換も活発になり、各々の専門相談機関相談員同士の役割の理解が進んだ。その中で各相談機関の機能・役割を整理し多職種連携が可能となるよう、また専門職が各専門相談窓口を社会資源として適切かつ効率的に活用できるよう専門職向け専門相談機関相談窓口一覧表の作成に取り掛かり、原案を作成するに至った。地域住民向けについては現在検討中のところもあり、令和2年度中の完成を目指すこととなった。
今後の課題	複合課題のある支援困難ケースが増加傾向にあり、多職種連携が更に重要となってきた中、専門相談機関相談員については異動等による人の入れ替わりもあり、中々上積みのにくい部分があり今後も継続実施が必要であり、各相談員のスキルアップのための効率的な方法についても更に吟味していく必要がある。一方地域住民に対しても相談窓口が多岐にわたるため混乱が生じる可能性もあり、その一つのツールとして地域住民向けの専門相談機関相談窓口一覧表の作成により地域住民に対しての周知啓発活動を積極的に取り組む必要がある。
※以下は、区包括運営協議会事務局にて記入。	
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和2年7月10日(金)
専門性等の該当	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性 (拡張性) <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input type="checkbox"/> 独自性
今後の取組み継続に 向けてのコメント (区地域包括支援センター 運営協議会からの意見)	社会資源が少ないことがネックになっているが、専門相談機関相談員勉強会を立ち上げて、専門的なところでサポートしていることは評価できる。スキルアップでは、全体的に底上げする動きがあり継続的に取り組んでいる。今後の発展に向けて範囲を広げて専門職のスキルを高めてほしい。 専門職向けの専門相談機関窓口一覧表については、原案の作成が済んでいると報告があった。完成させ活用されることと、地域住民向けの専門相談機関窓口一覧表の作成により地域住民に対しての周知・啓発活動の取り組みを期待する。